

玉川中学校における災害図上訓練（DIG）の実施について

平成 22 年 6 月 23 日（水）に川崎市立玉川中学校で災害図上訓練（DIG）が実施されました。

今回は、中原消防署の署員が主導となり中原消防団や地域の自主防災組織の方々にも参加していただき、玉川中学校 1 学年生 3 クラス約 100 名が訓練を行ないました。

◎ 災害図上訓練（DIG）とは？

災害図上訓練（DIG）とは、Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）を略して DIG「ディグ」といい、地図を用いて地域で大きな災害が発生する事態を想定し、地図と地図の上にかける透明シート、ペンやシール等を用いて、危険が予測される地帯または事態をシートの上書き込んでいく訓練のことです。



◎ 訓練の目的

この訓練は、①「災害を知る」、②「まちを知る」、③「人を知る」の3つを考えることを目的に行われます。

①「災害を知る」

防災を考える上でまず必要なのが、自分の住んでいる地域で起こりえる災害の様相を認識することです。地図に書き込みを行い、「どこで、どの規模で、どういう被害の発生が予想されるか？」ということ具体的にイメージします。

②「まちを知る」

大勢で議論しながら地図に書き込みを行うことで、「まちの構造はどうなっているか」「危険な場所や災害時に役に立つ施設は？」ということを理解することができ、自分の住むまちがどのようなまちか見直しを行います。

③「人を知る」

DIGでは、「いざという時に頼りになる人はどこにいるのか?」「近所に手助けが必要な人はいないか?」などの情報を地図に書き込んでいきます。人的要素の書き込み作業は、まちの「財産目録」を作ることとなります。



◎ 訓練の内容

・訓練想定

訓練は、「平成 22 年 6 月 23 日（水）午後 5 時 00 分ころ首都地域直下（東京湾北部を中心とするマグニチュード 7.3、深さ 38 キロメートル）の大規模地震が発生し、関東地方では神奈川県東部及び南部で震度 6 強を記録し、川崎市内においても震度 6 強から 6 弱の揺れを記録した。市内全域では家屋の倒壊、火災の発生及び道路、電話、電気などのライフラインの寸断等、各地域で甚大な被害が発生している。」との想定で実施。

・訓練方法

(1) 用意したもの

白地図・透明ビニールシート・カラーペン・丸型ラベルシール・付箋等

(2) 訓練の順番

Step1 自然条件を書き込む。（道路や線路、河川等）

Step2 地域の防災資源を書き込む。

（警察署・消防署・区役所・学校・病院・ガソリンスタンド等）

Step3 作成した地図を基に地域で起こりそうな被害をイメージする。

・地域の特徴の把握

・起こりうる被害の状況

・被害を減災するための対策

等を検討する。

Step4 検討したことを発表し、情報共有をする。





中原区では、今後も区内の中学校を中心にDIGを行っていきます。DIGやその他の防災訓練を通じて災害に対して日ごろから意識し、みなさんで地域の防災・減災に努めましょう。